２０１４年　４月　２日

お客様各位

キヤノンＩＴソリューションズ株式会社

全銀ＴＣＰ通信プログラム
バージョン　3.06　リビジョン01　変更内容について

拝啓　貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「全銀ＴＣＰ通信プログラム」
（Ver.3.05-01→Ver.3.06-01）において、下記のような改修を行いましたので
お知らせ致します。

敬具

記

［概要］

・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

［強化項目］

以下の機能を強化しました。

［システム全般］

◎以下の OS に対応しました。
・Microsoft Windows 8.1 Pro　※
・Microsoft Windows 8.1 Enterprise　※
※32 ビット版アプリケーションとして動作します。
※デスクトップアプリとしての動作を保証します。

◎以下の OS を動作対象から除きました。
・Microsoft Windows XP Professional
※いずれも 32 ビット版、64 ビット版です。

［API 関連］

◎ZGTCPAPI、および ZTPUTAPI の使用環境を「Microsoft Visual Basic 2010 以上」に変更しました。
これにともない、サンプルプログラムを「Microsoft Visual Basic 2010」用のみにしました。

［改修項目］

以下の問題点を改修しました。

［ファイル転送機能関連］

・Windows のダイヤルアップネットワークに 201 個以上の接続先を定義している状態でダイヤルアップ接続のファイル転送が行われると、「PPP00603」のエラーになる。

［API 関連］

・ZGTCPAPI を使用したアプリケーションをデバッグモードで実行すると、Microsoft Visual Basic の以下のエラーが発生することがある。
＜エラーメッセージ＞
フォームの作成中にエラーが発生しました。詳細については、Exception.InnerException を参照してください。エラー: ’AxZGTCPAPI’ コントロールのウィンドウ ハンドルを取得できません。ウィンドウなしの ActiveX コントロールはサポートされていません。

［その他］

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.1	Microsoft Windows Vista Business SP2	○	○
	Microsoft Windows Vista Ultimate SP2	○	○
	Microsoft Windows 7 Professional SP1	○	○
	Microsoft Windows 7 Enterprise SP1	○	○
	Microsoft Windows 7 Ultimate SP1	○	○
	Microsoft Windows 8 Pro	○	○
	Microsoft Windows 8 Enterprise	○	○
	Microsoft Windows 8.1 Pro	○	○
	Microsoft Windows 8.1 Enterprise	○	○

○：確認済み　－：対象外

＜前提条件＞
仮想環境で利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。
・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以　上

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista および Visual Basic は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。